

資料3 今後のActive Agingに向けた日本の貢献の方針

高齢化に関する国際協力の方向性等

背景及び基本方針

背景: ASEAN諸国では急速な高齢化が予想されており、対応が必要となる。

目的: Active Agingを推進し、高齢になっても健康的な日常生活をおくれる社会の実現を目指す。

方法: 日本の経験・知見を活かし、効果的な国際協力を推進する。

取り組むべき課題

- 高齢化に対応する仕組みの構築
 - 高齢化社会に関する中長期的な国家戦略の策定
 - 社会保障制度の整備
 - ・ UHCの実現
 - ・ 年金制度
 - NCD対策の推進
 - ・ 認知症対策
 - 高齢化に関する社会統計等の整備
- サービスの充実とケアの質の向上
 - 高齢者関連施設の整備と規制
 - 在宅サービスの展開と地域資源の拡充
 - 高齢者の社会参加促進
 - 人材育成及びエンパワーメント
 - ・ 介護人材の育成

対応の手法

- ▶ 効果的な国際協力の推進
 - 多層的アプローチ
 - ・ 国際会議等での政策対話
 - ・ プロジェクト
 - ・ 研修
 - ・ 民間協力
 - ASEANの高齢化対策関連のネットワーク形成
 - 日本側の伝達に必要なとされる知見の再整理
 - ・ 資料の蓄積
 - ・ 国際協力に関わる人材育成

今後の具体的な国際協力の推進方策(例)

課題

考えられる方策

- 高齢化に対応する仕組みの構築
 - 高齢化社会に関する中長期的な国家戦略の策定
 - 社会保障制度の整備
 - NCD対策の推進
 - 高齢化に関する社会統計等の整備

- サービスの充実とケアの質の向上
 - 高齢者関連施設の整備と規制
 - 在宅サービスの展開と地域資源の拡充
 - 高齢者の社会参加促進
 - 人材育成及びエンパワーメント

- ASEAN諸国間のネットワーク形成
 - ・ 各種SOM会合の活用、Active Aging地域会合
- 政策対話、各国の社会保障制度の現状の共有
- 高齢化対策に活用可能な資源のマッピング
 - 日本からの進出企業・団体のデータ
 - ASEAN国内の資源
 - ASEAN各国の責任者のリスト
- JICA技術協力プロジェクトの推進、立上げ
 - 制度設計・人材育成の推進
- 日本の知・経験の蓄積と整理・共有、プラットフォーム形成
- 関連する民間企業・団体の活動紹介
- 民間企業の海外進出の促進
 - 進出に当たっての課題解決(ケーススタディ)